

令和8年産甘味資源作物の生産者交付金単価が決定！！

令和8年産の甘味資源作物の生産者交付金単価と生産振興対策が決定しました。
さとうきびは前年と同価格を維持し、でん粉原料用かんしょは8年連続の引上げとなりました。

1. 生産者交付金単価について

(1) さとうきび

①生産者交付金 (単位：円 / トン)

	令和5年産	令和6年産	令和7年産	令和8年産	対前年比
交付金	16,860	16,860	16,860	16,860	± 0

※糖度が13.1～14.3度帯の場合の交付金単価

(2) でん粉原料用かんしょ

①生産者交付金 (単位：円 / トン) (俵 / 37.5kg)

	令和5年産	令和6年産	令和7年産	令和8年産	対前年比
交付金	30,290	32,340	34,350	36,010	+1,660
俵換算	1,135	1,212	1,288	1,350	+62

注) 上記の交付金単価は、免税事業者に適用されるものであり、課税事業者については、消費税負担相当額を控除した交付金単価(さとうきび：16,010円/トン、でん粉原料用かんしょ：34,870円/トン(俵換算：1,308円))を適用。

2. 生産振興対策について

(1) さとうきび

① 本年末までに改定される新たな「さとうきび増産プロジェクト」に基づき、土づくりや優良品種への転換、生産基盤の整備、担い手・作業受託組織の育成・強化、労働力確保の取組、農業機械の導入とその推進に必要な環境整備等、産地の生産性向上の取組を支援するほか、農業構造転換集中対策において、スマート農業技術を活用したハーベスタへの切替を集中的に支援する。

② 自然災害からの生産回復等を支援するためのセーフティネットとして「さとうきび増産基金」の予算を確保し、台風、干ばつ等への適期・適切な対応が可能となるよう、引き続き措置する。

(2) でん粉原料用かんしょ

① でん粉原料用かんしょの生産量を増加させるため、新品種(こないしん・みちしずく・コガネタイガン)の導入や生分解性マルチの導入、省力化のための農業機械の導入や基幹作業の外部化に向けた作業受託組織の育成等、産地の生産性向上の取組を支援する。

② 病虫害対策について、サツマイモ基腐病への対策として、被害軽減に資する輪作の推進や健全な苗・種いも供給能力の強化、抵抗性品種への転換の取組のほか、サツマイモ基腐病を含む病虫害への防除効果が見込まれる技術の実証のための取組を支援するとともに、排水対策・土層改良等の基盤整備等を支援する。

